

第9回

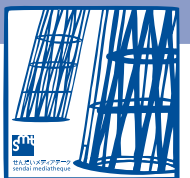
前回 仙台市
歴史民俗資料館

ビール ↓

今回 ル
パシカと
ソンプレロ

せんだいメディアアテーク
企画事業係長

清水有たち



「ル」ではじまる今回は「ルパシカとソンプレロ」(仙台市所蔵)という油絵です。作者は仙台市の名誉市民である杉村惇むね。

杉村惇は、明治40年から平成13年まで活躍した洋画家で、東京美術学校(現東京藝術大学)に入学し在学中から注目されました。昭和8年には第1回東北美術展(現河北美術展)で最高賞の河北賞を受賞。新進気鋭作家の地位を確立しますが、折あしく東京で戦災に遭い、それまでの作品はアトリエとも焼失。塩竈市に疎開し画業を続けます。昭和40年以降は仙台市へと移り「日展」を中心に特に静物画の名手として活躍を続け、平成8

年には仙台市名誉市民の称号が贈られました。さて、この絵の魅力は、等身大にまでデフォルメ(強調)さ

れた人形たちが織りなす空間の不思議さにあり、知らず絵の中へ引き込まれていく画面からの力にあります。画面中央のマリオネット(操り人形)の真っ赤な衣装をルパシカと言いい、ウクライナの民族衣装で、シャツや上着のことを指す「ルバーハ」から来ています。また、その横の人形がかぶっている帽子は「ソンプレロ」と言いい、メキシコのつば広の帽子のことです。「静物学者」と敬愛された杉村にとって、こういった静物を描くことは「命を削る」苦心の連続であり、「対象の核心との対決」であったといえます。これらのマリオネットを極限まで大きく描く事で、湧き出してくるユーモア、奇妙な世界観、人形に吹き込まれた命までもが、描いた画家がその時どのようなものを見つめたかという告白なのです。

平成13年には「開館記念 名誉市民杉村惇作品展」をメディア

アテーク6階ギャラリーで開催、翌年にも寄贈展を開催し、その後も仙台市役所庁舎内のギャラリーで寄贈された絵画の展示を続けてきました。平成26年からは、杉村にゆかりのある塩竈市に開館した塩竈市杉村惇美術館の常設展示も、新たな拠点として両市民に親しまれています。杉村惇没後20年という節目の年、静謐で重厚な杉村の世界の魅力をぜひご堪能ください。さて、今回は「ルパシカとソンプレロ」の「ろ」でつながるお話を。どのミュージアムが登場するのか、どうぞお楽しみに。

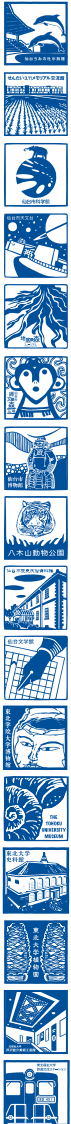
「杉村惇絵画作品展」については17ページ、SMAAの催しについては18ページをご覧ください



▲せんだいメディアアテークでの展示風景



▲「ルパシカとソンプレロ」F100号



おうち時間に親子でクッキング!

せんだいレシピ帖

ツナブロサンド



- 材料(4人分)
食パン(8枚切り) … 8枚
クリームチーズ … 100グラム
ツナ缶 … 1缶(70グラム)
ブロッコリー(小房) … 5房(50グラム)
☆塩 … 1つまみ
☆こしょう … 少々

旬のブロッコリーを加えて、野菜も手軽に食べられるツナサンドです。マヨネーズではなくクリームチーズを使うため、時間がたっても水っぽくなりなく、おいしくいただけます。

作り方

- 1 クリームチーズはボウルに入れ、室温に戻して柔らかくしておく(冷蔵庫から出してすぐに使う場合は、電子レンジで20秒加熱する)
- 2 ブロッコリーはゆでてから冷まし、粗めに刻む
- 3 ①に②と水気を切ったツナ、☆の調味料を加えてよく混ぜる!
- 4 食パン4枚の片面に③を塗り、残りの4枚を重ねる!
- 5 軽くパンを押さえ、4等分に切る

お手伝いPoint

材料を混ぜる作業、パンに具を塗る作業などができます

※健康政策課Facebook「仙台伊達なキッチン—だてきち」では他にもアレンジレシピを紹介しています 健康政策課 ☎214・3894